



環境構成

もの

りす組（年少）

<種類や量>

- 子どもが興味を示していないものや遊びにくいものを無くす
- いろいろな性質を持ったものを用意（遊び方が限定されないもの）
- 扱いやすいもの・身近なもの

<整理や配置の仕方>

- 似たような種類のものは同じカゴに
- 子どもが取り出しやすい場所に配置
- 欲しい時にいつでも自由に取り出せるように

ルール

ホームクラス（預かり保育）

<自分で遊びを選ぶように>

- 外でも中でも遊べる時間を決める
- 遊び方はこどもにゆだねる

<自分で時間の使い方を決められるように>

- 全員でしなければならない活動を減らす
- 自由に遊べる時間を増やす
- おやつは時間内であればいつでも見直しを持てるようにスケジュールを固定

空間

チューリップ（年中）

<空間の特性を生かす>

- いろいろな場所に自分でアクセスできるように
- 外と中が繋がっている空間
- 広い 狭い 明るい 暗い空間
- 高低差がある スロープがある空間
- 落ち着いた空間をつくる

<自分たちで空間づくり>

- 空間づくりをしやすい環境をつくる

居場所

ゆっくりペースの」児ジャンボ組（年長）

<居場所としての空間>

- お気に入りの空間を増やす
- 目線から高くなっている場所 製作コーナー
- 階段の踊り場 ソファ

<居場所をつくるための時間>

- 時間の見直しを持てるように工夫
- スケジュールノート 掲示
- スケジュールの固定化

<友だちとの関係の中に居場所をつくる>

- 友だちが「いいところ」を発見できるように、遊びの中で「らしさ」を発揮できるように援助

みるふりかえる

ふりかえりツール② 日々のきろく

こどもの遊んでいる姿をとらえる 日々のきろく

日々のきろく

組 月 日 ()

写真・ビデオ

「今、いい感じだ」という瞬間をきろく

<状況説明>

記録の背景・状況

こどものコメント

実際に話していたこと

想像した心の声

<育ち>

保育者が発見したこと

★で5段階評価

いい顔 発展 発想 発見 みんなで () 度 ☆☆☆☆☆

保育者の発見

Before

子どもに何かをさせないといけないという思いが強かった
思い通りにさせるための枠をつくっていた
枠から出ないように取り締まる「警察官」のようであった

After

こどもの発見や新しい発想が生まれてくる場面に
たくさん出会い、保育者の気持ちに変化が！

「ま、いいか」

許す、任せる、信じるが増える
環境づくりはこどもが主体に
こどもを信頼できるようになり
保育を楽しめるようになってきた